



富士通株式会社様



シグナルアナライザ「MS2850A」

ベクトル信号発生器「MG3710E」

## ローカル5G基地局「FUJITSU Network PW300」の屋内用RU無線評価を実施、アンリツの測定器とリモート制御サポートにより自動測定環境の構築を実現。

### ご導入の目的

シグナルアナライザと  
ベクトル信号発生器による  
「FUJITSU Network PW300」の  
屋内用RUの無線特性の評価。

### 導入の背景と課題

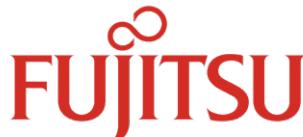
お客様がローカル5Gの導入をスピーディに実現するために、SA構成によるネットワーク製品「FUJITSU Network PW300」を開発、2021年4月に販売開始。

### 選定の理由

アンリツの豊富な無線知識と、地の利を生かした充実のサポート体制を高く評価。  
富士通様とアンリツのコラボレーションにより屋内用RUの自動測定が実現。

### 導入の成果と展望

自動測定環境を構築したことで、安定した品質試験を実現し  
作業工数の削減にも貢献。今後は国内だけでなくグローバル展開を促進中。



### 導入の背景と課題

#### お客様のローカル5G導入をスピーディに実現するために、 SA構成による「FUJITSU Network PW300」を販売開始。

社名	富士通株式会社
設立	1935年6月
代表者	代表取締役 時田隆仁
事業内容	テクノロジーソリューション、ユビキタスソリューション、デバイスソリューション
売上収益	3兆5868億円（連結/2022年3月期）
研究開発費	1,053億円（連結/2022年3月期）
従業員数	124,200名（グローバル/2022年3月末現在）
本社事務所	東京本社 / 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター
URL	<a href="https://www.fujitsu.com/jp/">https://www.fujitsu.com/jp/</a>



### ご導入いただいた製品

#### シグナルアナライザ「MS2850A」

5G測定ソフトウェアを内蔵、開発・製造の効率化に貢献  
・MX28501A (5G測定ソフトウェア)

#### ベクトル信号発生器「MG3710E」

優れたRF性能とベースバンド機能を兼ね備えた信号発生器  
・MX370113A (5G用波形生成ソフトウェア)

グローバルな環境で、様々な業種のお客様をICTで支援する富士通様。高品質なシステムの設計・構築・運用までを一貫して提供し、AI応用ソリューション、スーパーコンピュータなどの製品とネットワーク技術を統合できる強みを生かす、多彩なソリューションを提供しています。

テクノロジーにおいても、世界に先駆けて4G無線基地局の実験を成功させ、5Gでは世界最小のアンテナを実現するなど、高い技術力を保有しています。

ローカル5Gへの取り組みも非常に早く、2020年2月に国内初となる商用ローカル5Gの基地局・陸上移動局免許を取得。富士通川崎テクノロジスクエアでローカル5Gシステムの運用を開始しました。お客様やパートナー企業とのローカル5G実証の場である「FUJITSU コラボレーション」

ンラボ」で、業務革新や地域課題解決に向けた多様なユースケースを創出するとともに、お客様の現場への導入支援などを行っています。

富士通様は2021年4月、ローカル5Gによる自宮無線ネットワークを構築するネットワーク製品「FUJITSU Network PW300」の販売を開始しました。これは2020年からローカル5Gのスタンダードアロン構成（SA）での運用が可能になったことを踏まえ、ローカル5G導入に必要な機能をワンパッケージにした製品。その狙いを、同社モバイルソリューション事業部の安藤和明様はこう語ります。

「PW300は、お客様がローカル5Gの導入をスピーディに実現できることがポイントです。構成がシンプルで、コスト面や運用面で大きなメリットがあることから、産業用途での利用が進みローカル5Gが普及することを期待していました」

モバイルシステム事業本部  
モバイルソリューション事業部  
安藤 和明 様



モバイルシステム事業本部  
モバイルソリューション事業部  
三浦 良夫 様



モバイルシステム事業本部  
モバイルソリューション事業部  
都筑 俊秀 様



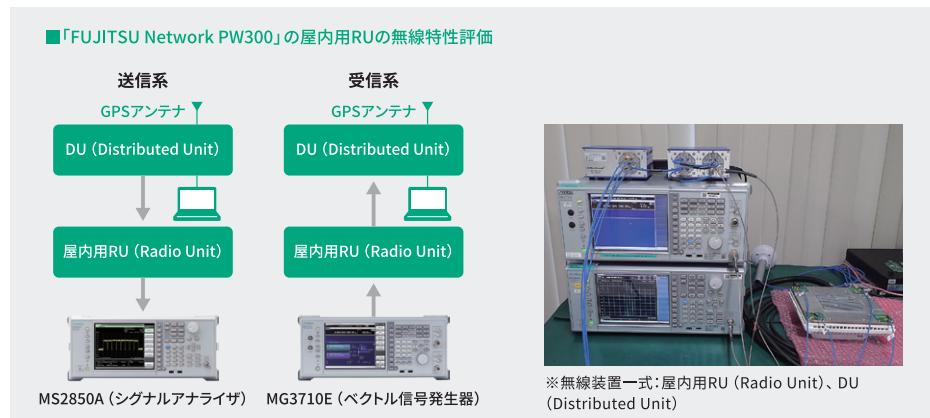
## 選定の理由 アンリツの豊富な無線知識と、地の利を生かした充実のサポート体制を評価、両者のコラボレーションで自動測定が実現。

「FUJITSU Network PW300」の開発にあたり、富士通様はアンリツからの測定サポート提案を受け、2021年2月から協働で無線特性評価を開始しました。これはPW300を構成する無線装置一式<sup>※</sup>をアンリツ側で測定し、その結果を共有しながら必要な無線特性評価をすべて実行するという作業でした。

また富士通様の次の課題であった製造ラインの立ち上げでは、パートナー企業の九州テン様が製造ラインを構築する際、この無線特性評価の測定手順を流用することによる効率化を検討していました。

「アンリツからの提案を採用した理由は、過去にも同様な測定サポートをしてもらった関係性もあり、その手厚いサポートを信頼していましたことです。基本的な測定スキルはあったものの、実際に測定器を使いこなすためには疑問も多く、即座に回答を得られたことはとても助かりました」(安藤様)

この協働で目指したゴールは、開発だけでなく製造ラインの立ち上げを意識してPW300の屋内用RUの無線評価を自動化することでした。その実現に向けて両者がコラボレーション。シグナルアナラ



イザ「MS2850A」とベクトル信号発生器「MG3710E」による無線評価を自動化するVBAのサンプルソフトウェアをアンリツが提供。富士通様はそのサンプルソフトウェアを利用し、PW300の制御および測定系の切り替えを自動化するプログラムにカスタマイズすることにより、ボタン一つで無線評価試験が実現する環境を構築しました。その間の経緯を、同事業部の都筑俊秀様はこう振り返ります。

「アンリツの測定器と富士通の制御技術のコラ

ボレーションがなければ、この自動測定は立ち上がらなかったと思います。アンリツ側で作成したサンプルソフトウェアがわかりやすく、カスタマイズも円滑にできました」

また同事業部の三浦良夫様も、こう指摘します。「測定器は初めての人から見るとても複雑な装置ですから、サンプルソフトウェアにより知識がなくても自動測定できる環境を整えられたことは、非常に有益でした」

## 導入の成果と展望 自動測定環境を構築したことで、安定した品質試験を実現し作業工数削減にも貢献。

富士通様とアンリツのコラボレーションで構築された「FUJITSU Network PW300」の自動測定ソフトは現在、同製品の製造パートナーである九州テン様で稼働しています。

「自動測定が実現したことで、試験者の作業が非常に楽になり満足しています。自動測定環境を立ち上げる際に、測定に関する知見が不足していたため、試験シナリオ実行に必要なファイル設定が不足するなどの苦労はありましたが、アンリツのサポートにより問題なく環境を構築することができました」(九州テン様)

また自動測定ソフトを開発し、九州テン様に提供した富士通様からも、次のような声をいただいています。

「アンリツの充実したサポートにより、九州テン様へ自動測定ソフトを提供する前に動作確認ができたため、自動測定ソフトが動かないなどのト

ラブルは発生しませんでした。また、アンリツによる測定器のリモート制御サポートは、測定器を選定する上でも決め手となる要因でした。導入の結果、安定した品質試験が実現し、試験の作業工数の削減にも貢献しています」(安藤様)

こうした成果も踏まえ、富士通様では2021年12月から「FUJITSU Network PW300」スターターキットの提供を開始しました。これはPW300をベースに、主要機能を1台のサーバーに集約した製品。スループットはDUに依存する要素が大きいためこの構成でも性能は変化せず、しかもプラットフォーム価格を標準価格比で約3分の1という低コストを実現した画期的な製品です。

「スターターキットの提供により、ローカル5G導入のハードルはかなり下がると思います。最初はローカル5Gの高速・大容量という特長を活かした領域での活用が進むと思いますが、まずスター

ターキットで部分的に導入し、その成果を確認した上で活用規模を拡大することができます。導入後のスケールアップに対応しているので、費用対効果をより発揮しやすくなったのではないかでしょうか」(都筑様)

富士通様では今後、省庁との連携による実証実験を積極的に推進し、ローカル5Gの国内及びグローバル展開に向け、積極的に取り組んでいく計画です。



**Anritsu** Advancing beyond

### アンリツ株式会社

■カタログのご請求、価格・納期のお問い合わせは、下記または営業担当までお問い合わせください。  
通信計測営業本部 営業推進部  
TEL 0120-133-099 (046-296-1208)  
FAX 046-296-1248  
受付時間 9:00～12:00、13:00～17:00、月～金曜日（当社休業日を除く）  
E-mail SJPost@zy.anritsu.co.jp

